

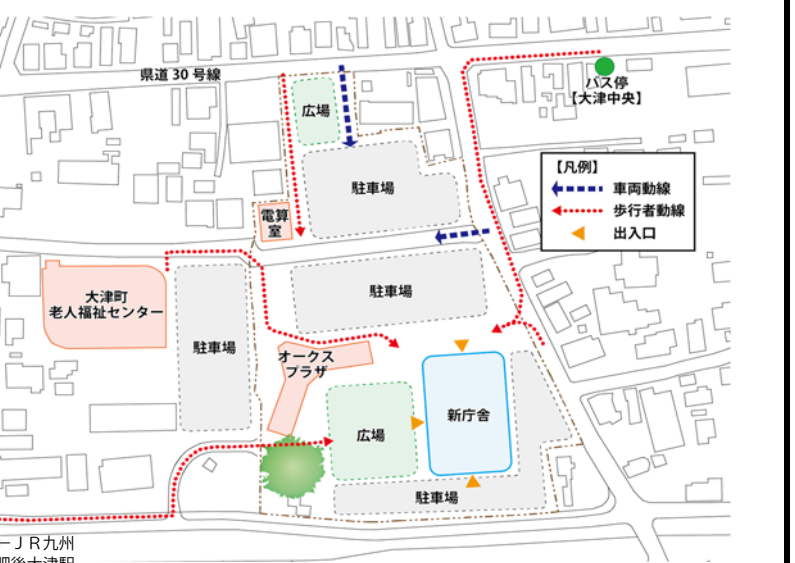


庁舎の配置案比較表		A案	B案	C案
配置図				
規模・階数		5階建て程度 (庁舎想定面積：7,000㎡)	5階建て程度 (庁舎想定面積：7,000㎡)	5階建て程度 (庁舎想定面積：7,000㎡)
比較項目	駐車場、広場	<ul style="list-style-type: none"> ・ B・C案に比べ、広くまとまった駐車場が確保できる。 ・ オークスプラザと大楠に囲まれた位置に、広場を広く確保することができるが、庁舎からは少し離れた位置となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旧庁舎以上の駐車場は確保できる。 ・ オークスプラザと大楠に囲まれた位置に、広場を確保することができる。 ・ 広場が庁舎に面し、イベント時や非常時の利便性や自由度が高く、庁舎と連動した使い方も可能である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旧庁舎以上の駐車場は確保できる。 ・ 庁舎の正面かつ、オークスプラザと大楠に囲まれた位置に、広場を広く確保することができる。 ・ 広場が庁舎に面し、イベント時や非常時の利便性や自由度が高く、庁舎と連動した使い方も可能である。
	平面計画 (法的な条件、建築の自由度、環境配慮など)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広い範囲で近隣に対して日影への配慮が必要となる。 (日影規制をクリアするために計画が制限される場合がある) ・ 敷地に高低差があり、建てる範囲を確保しづらく、1階の形態が制限され、窓口機能フロアが分散される場合がある。 (2層になり、上下階移動が増える) ・ 庁舎まわりにゆとりがないため、設備スペースや付属倉庫などのスペースを周囲に確保しづらい。 ・ 高低差解消のため、バリアフリー対策が必要となる。 (エレベーター、エスカレーター、スロープなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣民家に接近した配置となるため、日影、プライバシー、圧迫感、音などに対する配慮が必要である。 ・ 1階の床面積を広く確保することができ、窓口部署を1階に集約することが可能である。 ・ J R線に近い場合、騒音対策が必要となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣民家に接近した配置となるため、日影、プライバシー、圧迫感、音などに対する配慮が必要である。 ・ 1階の床面積を広く確保することができ、窓口部署を1階に集約することが可能である。 ・ J R線に近い場合、騒音対策が必要となる。 ・ 南北軸の建物配置なので、十分な西日対策が必要となる。
	コスト、工期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 敷地の高低差を解消するため、敷地の切り盛りや土留め、擁壁などの敷地整備費がかかり、工事工期も長くなる。 ・ 旧庁舎の既存杭撤去が必要となるため、撤去費がかかり、工事工期も長くなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ A・C案と比べ、建設コストおよび空調費などのランニングコストは、ともに低くなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ A案と比べると、建設コストおよびランニングコストは低くなる。 (西日対策の庇やルーバーなど、設置要。)
	周辺施設との関係性	<ul style="list-style-type: none"> ・ B・C案に比べ、オークスプラザとの距離が長くなる。 ・ 商店街の通りに面した配置となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ オークスプラザに隣接した配置となり、連携が図りやすい。 ・ J R肥後大津駅から近く、駅やJ R線からの庁舎への視認性も良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ オークスプラザに隣接した配置となり、連携が図りやすい。 ・ J R肥後大津駅から近く、駅やJ R線からの庁舎への視認性も良い。

* A・B・C案は、配置の概念を示すものであり、今後の基本設計の指標となるものとします。また、本表の内容は今後の検討により、変更になる場合があります。